

令和元年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立恵那高等学校

学校番号 49

I 自己評価

1 学校教育目標	質実剛健・自重自治の伝統精神を基調とし、進取闊達にして知性と情操豊かな民主国家の形成者を育成する。	
2 評価する領域・分野	◇教育課程・学習指導	
3 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	<ul style="list-style-type: none"> ・教育方針・学校経営については保護者からは概ね良い評価をいただいている。また、学校行事においても本校の取り組みに対して高い評価を得ている。これは生徒自ら行事等を運営する機会の多さや、本校が行っているボランティア活動の推進、また「恵那田舎塾」による地域社会との連携等に理解をいただいている結果であるのではないだろうか。 ・学習活動についてはまだまだ評価の低い部分もある。生徒一人一人に学習内容が浸透できるような指導方法、生徒それぞれの自己肯定感を高めるような学習指導を行うことが課題である。 	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ◇生徒自らが学習を計画的・積極的にを行うことができる。 ◇個に応じた学習指導を行う。 ◇単位制としてのカリキュラムの編成、指導計画の具体化を進める。 	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導の向上とその方策 ・各分掌、学年会、各教科との緊密な連携 ・教育課程委員会等を中心にして、情報共有しながら教育課程・指導計画を検討する。 	
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
<ul style="list-style-type: none"> (1) 学習アンケートの結果等を踏まえ、各分掌・教科での分析、指導方法の検討 (2) 「総合的な探究の時間」「SSH」を中心とした、探究活動の充実 (3) 効果的な教育課程の運用と見直し 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 個人面談による生徒把握 (2) 定期考査や外部模試等の結果分析 (3) 「総合的な探究の時間」「SSH」での指導、発表等 	
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
<ul style="list-style-type: none"> ・年2回の生徒による授業評価と各教科の授業研究により、授業改善に取り組んでいる。 ・外部模試等の分析結果を全職員間で共有し、生徒学力向上への対策の検討。 ・「総合的な探究の時間」「SSH」において、3年間の見通しをもった計画をし、各学年と協力して探究活動を推進した。 ・単位制における教育課程の編成を各教科、分掌等と連携して進めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ①生徒が自ら学び、理解を促す授業展開ができたか ②生徒の学力を把握し、学習支援ができたか ③生徒の主体的な行動への喚起ができたか ④単位制における教育課程や指導計画を編成できたか 	<p>A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/></p> <p>A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/></p> <p>A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/></p> <p><input checked="" type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/></p>
11 成果課題	<ul style="list-style-type: none"> ○多層化する生徒にきめ細やかに対応し、それぞれの進路希望の実現に向けて、探究活動を重視した教育課程の編成ができた。 ○「総合的な探究の学習」「SSH」を含む探究活動の成果をもって、推薦入試を利用し、進路実現を達成できている。 ▲これまで以上に個に応じた学習指導の在り方を、授業だけでなく、補習等あらゆる機会を捉え、各分掌・各学年会・各教科で改善していきたい。 	
12 来年度に向けての改善方策案		
<ul style="list-style-type: none"> ・単位制を含めた教育課程の運用についての課題等に向けて、課題解決を図る。 ・生徒・保護者による学校評価等の結果を分析するとともに、各分掌・教科での検討を通して、探究活動を活かした学習指導について、研究・実践に努める。 		

II 学校関係者評価

実施年月日：令和2年1月28日

<p>【意見・要望・評価等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校との連携を深める。小中学校は高校に対して遠慮がちなので高校から積極的に連携を模索してほしい。 ・教員が何を学ばせたいかが重要、かつ教科間での連携が必要だと考える。そのためにも学習指導要領の変遷の意義を学ぶことも大切だと思う。 ・明るくよい学校だと思う。
--